



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 22 No. 2839

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長／菊地 昭通
- 副会長／山下 卓己
- 幹 事／福島 和秀
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>RI ホームページ <https://www.rotary.org>**第2928回例会 2024年 1月 15日****今日のプログラム**

・普通例会・誕生祝・理事会

前回（12月18日）の記録・普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督
斉 唱 我らの生業
本日の出席 会員 43人中 出席者 33人 出席率 79.07%
本日の欠席 榎本實夫・加藤博・川東久聖・國森和磨・但木行久・田中道也・千葉道夫
奈良康弘・深尾幸夫・山本政史實

ニコニコBOX 谷村一文会員（ファミリーパーティ終了御礼）
織戸会員・井口会員・福島会員・菊地会員・大橋会員：山口会員
（ニコニコオークション・ゲーム罰金として）
井口会員（日本バス協会貸し切りセーフティバス評価認定三ツ星4年更新記念祝）
泉谷会員（ファミリーパーティ抽選会満足御礼）

累計 266,000円

例会予定**■ 1月例会日[職業奉仕月間]**

- 1月 1日(月) 休会（元日）
- 1月 8日(月) 休会（成人の日）
- 1月 15日(月) 普通例会・理事会
- 1月 22日(月) 普通例会
- 1月 29日(月) 夜間例会

■ 2月例会日[平和と紛争予防/紛争解決月間]

- 2月 5日(月) 普通例会・理事会
- 2月 12日(月) 休会（建国記念日振替）
- 2月 19日(月) 普通例会
- 2月 26日(月) 夜間例会

■会務報告.....菊地 昭通会長

最近ニュースを見ていて、自分事と他人事の境界について考えさせられています。自分事とは、最近よく使われるようになった言葉で「自分と関係のあること」という意味であります。多くは、ポジティブな意味で使われ「政治を自分事としてとらえよう」などのような使われ方をします。別の言葉でいえば「当事者意識」に近いのではないかと思います。「政治を自分事に」「仕事を自分事に」「子育てを自分事に」などのように、積極的な姿勢で物事に取り組むことを求める表現でもあります。

一方で、その対義語になる「他人事」の方は、あまり良いイメージでとらえられていません。無関心、非協力的といったニュアンスが含まれることが多いように感じられます。今の世の中では、何事に対しても「自分事」としてとらえることを要求されているように感じます。たとえば、「ウクライナで戦争が始まった」と聞いたら、「日本も隣国から侵略される危険があるから他人事ではない」とか、芸能事務所での性暴力が明るみになると、「セクハラ・パワハラはどこ職場でもありうる」など、何とかして自分との関わりを見つけようとします。また、そのような姿勢が誠実な反応としてもてはやされます。

そんな風潮を見ていて正直、多少息苦しさを感じています。なぜ他人事として片づけてはいけないのか。世の中すべての出来事を自分に関連付けないといけないのか、と。また、選挙権も持っていないアメリカの大統領選にそんなに関心を持たなければならないのでしょうか。パレスチナとイスラエル政府のどちらの味方が立場を表明しないといけなののでしょうか。札幌の真ん中に住んでいる人まで「住宅に近づいたクマを射殺すべきかどうか」議論しないといけなののでしょうか。

私は、現代の人たちはニュースを他人事として切り離すことを意識する必要があると考えています。そうやって自分事を絞ることで、本当に自分がやるべきことに集中できるのではないかと思います。そのニュース、本当にあなたの人生に関係ありますか?、それ必要ですか?。

今年もあと2週間ほどになります。12月は師走と呼ばれていますけど語源は「年が果てる月」「物事をしはつる月」「師があわただしく走る月」など諸説があります。いずれにしろ今月は一年を締めくくる月であります。

人生は四苦八苦の繰り返しなどと言われますが、その時々状況に振りまわされ快樂、名誉、金銭などしか

信じられなければ、みなそれらに執着してしまいます。因果の道理を学ぶと、過去の生き方が原因となって現在の結果があり、現在の生き方が因となり未来の果が生じることを理解します。そう考えれば、今の結果である現在の境遇に不平や不満をいうのではなく、現在は過去の罪障を消滅して未来の善果を生むよう精進をすれば、前向きな生き方ができます。だが因果の道理が信じられなければ、与えられた貴重な人生もどのように生きるかに迷い、さらなる悪果を生むはめになります。

それを解決するには、世間の倫理・道徳さえ身に着けていればよいという考えでは、人生を有意義には生きられません。どれほど学問があり社会的な地位を得た人でも、何のために生きるのかを考えなければ、今生の四苦八苦の人生を乗り越える道はありません。どうか報恩感謝の念で一年を共に締めくくりましょうではありませんか。

来年の干支は辰であります。銀の龍の背に乗って、地域経済が上昇して楽しく明るい年、そして一年が安寧な年でありますよう心からご祈念を申し上げ会務報告いたします。

■幹事報告.....福島 和秀 幹事

1. 年明けの例会は1月15日となります。例会終了後に理事会を開催しますので、理事役員の皆様は出席いただきますようお願いいたします。
2. 来年のPETSの日程が届いております。令和6年3月3日(日)ZOOMにて開催予定となっております。また、地区研修・協議会は4月14日(日)帯広にて開催予定となっております。
3. 皆様に頂きました歳末チャリティー募金を本日、社会福祉協議会に寄付してまいります。

結婚記念日おめでとうございます



歳末チャリティー募金